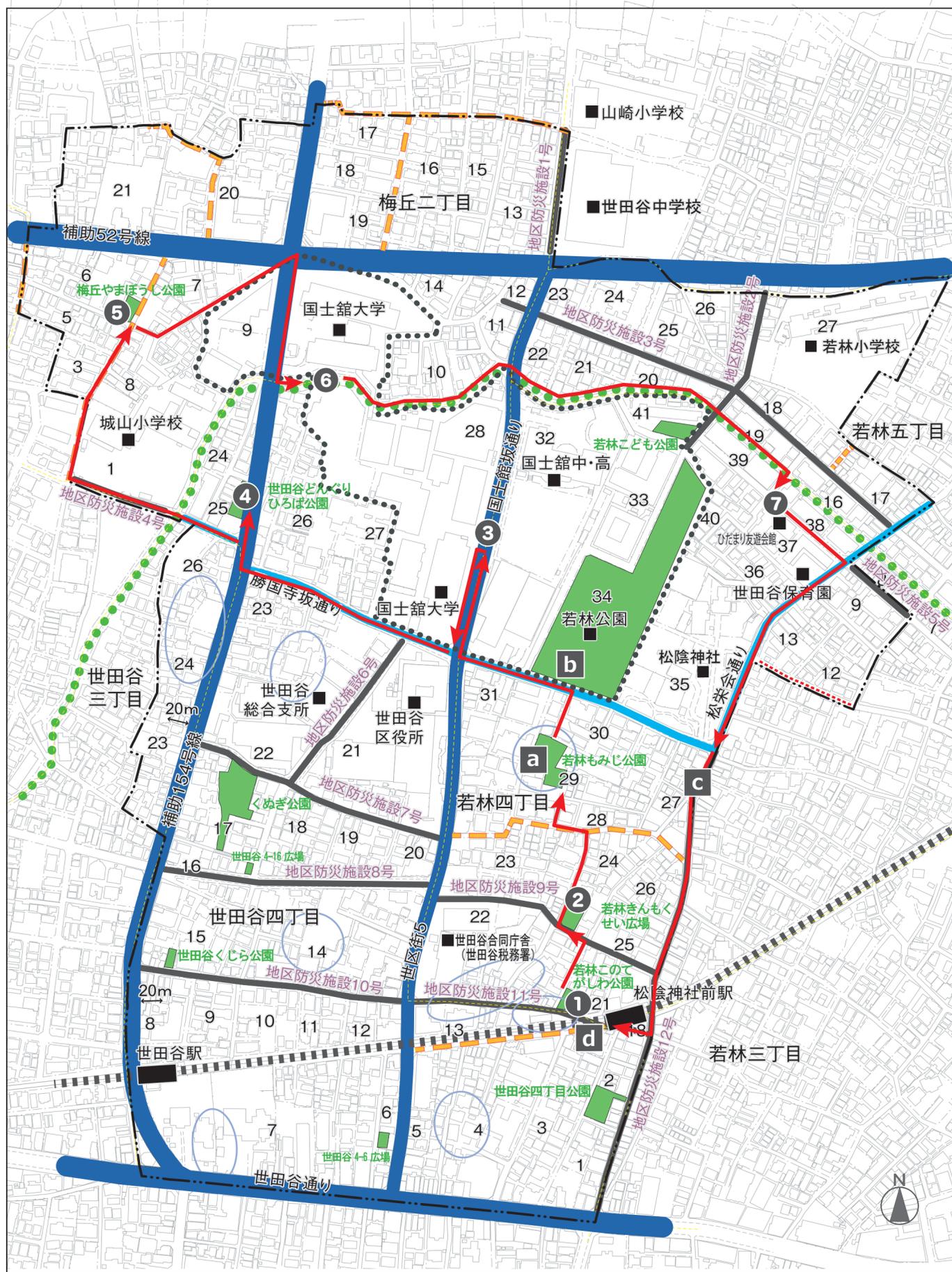


世田谷区役所周辺地区のまちあるきマップ

世田谷区役所周辺地区では、街づくりの取り組みによる整備が進んでいます。様々な街の見どころをご紹介します。ぜひお散歩してみてください。



① 若林このてがしわ公園

広場内には40tの防火用貯水槽があります。地域の皆さんに花の育成管理をしてもらう「花による緑化推進協定」が結ばれていて、花づくりが行なわれています。

② 若林きんもくせい広場

区役所周辺の街づくりの取組みとして敷地を買収し、身近な広場を整備しました。

③ 広域避難場所（国士舘大学一帯）

昭和55年から始まった区役所周辺地区では、広域避難場所の指定を目標の一つとして防災街づくりを進め、平成10年に「国士舘大学一帯」が広域避難場所に指定されました。

④ 世田谷どんぐり広場公園

健康器具がありスクワットに挑戦できます。地域の皆さんに花の育成管理をしてもらう「花による緑化推進協定」が結ばれていて、花づくりが行なわれています。

⑥ 烏山川緑道

烏山川緑道は延長約7キロあり、千歳台から三宿まで続いています。所々に座れる石などがあり、ゆっくりと歩きやすい緑道となっています。

a 若林もみじ公園

周辺は、行き止まり路が多く、広域避難場所への避難には大きく迂回する必要がありました。このような状況を改善するため、既存の広場を拡幅整備し、通り抜け機能を確保しました。

公園内には40tの防火用貯水槽があります。

b 若林公園

園内にはせたがや百景と名木百選のスジダイ群があります。

c 元気でやさしい松陰神社通り

松陰神社通りでは、平成16年度に東京都の「ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり推進モデル事業」に選定されたことから、街づくり協議会と区が一体となって、誰にでもやさしくふれあいが生まれる商店街を目指し、ハード・ソフトの両面の整備を行ないました。

道路整備としては、排水を道路の中心で行なうことで、道路と沿道の敷地との段差を解消し、歩行者空間を広げました。また、舗装を石畳風にし、松陰神社通りらしい雰囲気を出しています。

また、バリアフリー環境の維持や推進等のための「商店街まちづくりのルール」を地区街づくり計画に定めています。

d 斜め踏み切りの改良

東急世田谷線松陰神社前駅の西側の踏切が斜めであったため、自転車やベビーカー、歩行者などが線路の溝にはまってしまうような踏切でしたが、東急電鉄株式会社の協力を得て平成19年3月に真っ直ぐな踏切に改良しました。

上記モデル事業の一環で行いました。



斜め踏切の改良の図

凡例

- 公園等(地区施設)
- 緑道(地区施設)
- 都市計画道路
- 主要生活道路
- 地区防災施設
- 地区内避難路【地区街づくり計画】
- 住環境整備路線【地区街づくり計画】
- 通り抜け整備(概ねの整備箇所を示しています。)
- 広域避難場所
- ①～⑦ 番号の位置には地区計画の案内看板が設置してあります
- a～d 上記以外の見どころです